

# 会社説明会

2009.12.1

 株式会社 長大

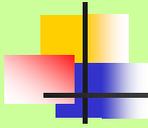
1

## 1. 最近の営業成果

### (1) 業績及び今後の見通し(連結)



2

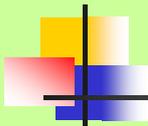


## (2) 顧客別受注状況(単独)

国内は大幅な減少



3



## (3) 42期損益状況

売上高が大幅な減少:約 34億円

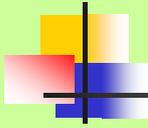
42期上期の受注高の減少が大きく影響

<マクロ要因>

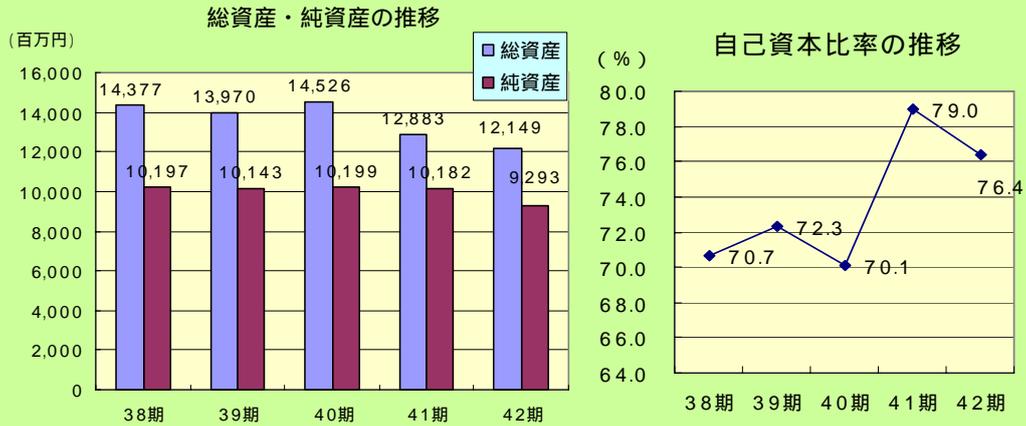
公共事業費の継続的な削減

道路特定財源の一般財源化

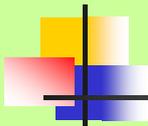
4



## (4) 財務状況

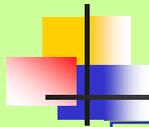


5



## 2. 今後の事業展開

6



## (1) 事業展開の方向性

### 長大の保有技術の最大限活用と展開

- ・技術の利用場面を広げ様々な展開が可能

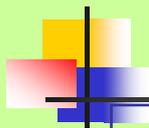
保有技術を最大限に活用

既存道路関連事業を軸とするさらなる成長

構造 + 計画 + マネジメント + 情報の融合で市場の創造と拡大

保有技術を要素技術とする新たなアプリケーションの創造

7



## (2) 国内の事業展開

### 収入源の多様化を目指す

- ・市場環境の変化・公共調達手法の変化
- ・コンサルタントの役割変化
- ・国民を直接顧客とする事業の考え方への変化

収入源の多様化を目指す

公共事業削減必至 公共事業以外の市場へ展開

顧客の拡大 インフラ整備は国から利用者主導へ

国民が必要とするインフラの企画・調査・計画・設計から運営までを行い公共からの委託業務ONLYからの脱却

8

### (3) 海外の事業展開

#### 海外の大きな市場へ

- ・国際ボーダレス化
- ・環境問題、貧困が招くテロなど途上国支援の必要性増大

市場の拡大を目指す

#### 真のグローバル企業へ

途上国支援は多方面にわたる保有技術の展開場所

国内外を問わない人的資源活用

9

### (4) 今後の成長分野(市場)

#### キーワード

少子高齢化・財政逼迫化・団塊世代大量退職・環境・海外・LCC・市場創造

#### 環境・新エネルギー分野は世界的注目市場

地球温暖化対策・CO2削減は世界的重要課題

#### 医療・福祉・介護市場

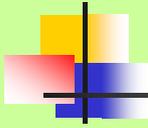
医療・介護関連施設整備はPFI大きな市場、高齢者移動支援など市場は多様

#### 公共サービスの提供(SP:サービスプロバイダー)

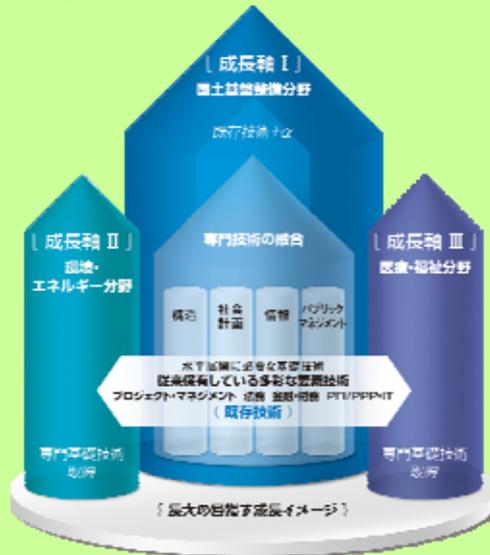
一般国民の行政参加意識に伴う各種公共サービス提供の要求拡大

成長展開を目指す 「3本柱の成長軸」

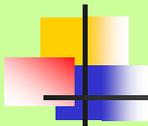
10



## (5) 3本柱の成長軸



11



## (6) 3本柱の展開方向

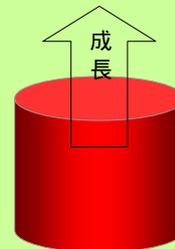
【成長軸 (国土基盤整備分野)】

従来の長大の強みの分野で、+ の技術、アイデアを加味することで更なる発展を目指す。

(構造、道路、交通などを複合的にかつインフラ保全の視点を強める)

成長への視点

- ・業際分野
- ・技術融合
- ・国民



12

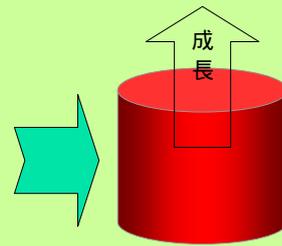
## (6)3本柱の展開方向

### 【成長軸 (環境・エネルギー分野)】

世界的に注目され、尚かつ緊急に対処すべき課題のある分野で、長大の環境技術、マネジメント技術及び外部の商品開発企業等と連携を取りつつ推進する。

#### 成長への視点

- ・従来環境分野の水平展開
- ・クリーンエネルギーへの技術的展開
- ・構造関連エコへの展開



13

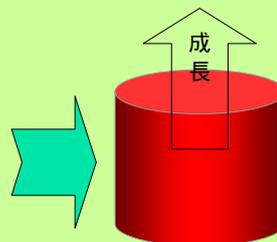
## (6)3本柱の展開方向

### 【成長軸 (医療・福祉分野)】

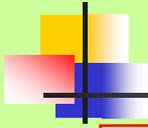
高齢化社会、福祉予算の増大に対応し、長大のPFI経験、IT技術等をベースに、関連企業との連携を考慮しつつ大きな市場から長大の得意分野を創造する。

#### 成長への視点

- ・PFIの業務展開
- ・ITSの業務展開
- ・耐震技術の水平展開
- ・関連企業との関係



14



## (7) 現在の進行中の新事業案件

### 1. 道路分野の更なる拡大

- ・道路運営事業 : 道路の計画から運営までの一貫した事業
- ・コンビニクル関連 : コンビニクルの仕組みを使った観光交通事業
- ・耐震補強関連 : 橋梁構造物から他の施設への展開

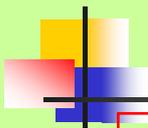
### 2. 環境・新エネルギー分野

- ・エコビジネス : エコプロダクツ事業推進部の立ち上げ

### 3. 医療・福祉・建築分野

- ・PFIによる病院立替事業
- ・健康情報活用事業(標準化実証実験事業)
- ・病院運営アドバイザー事業

15



## おわりに

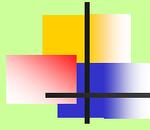
今後3つの柱を意識した事業展開

必要に応じ子会社、企業買収も考慮

個人のキャリアアップ、能力開発の推進

適宜、経営資源のシフト

16



CHODAI

株式会社 長 大